

七高SSH通信

R3・12・24
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第10号

自然科学研究Ⅰ（第1学年理数科）



「最先端医療」（12月3日）

1年生理数科生徒に対して、「自然科学研究Ⅰ」で、「最先端医療」のユニットとして、金沢医科大学総合医学研究所の石垣教授による「細胞治療の現場と今後の展望」の講義が行われました。

このユニットは、第一線の研究者による講座を通して、医学の最先端について学習し、生命現象について理解を深め、科学的な視野を養うことを目的として、毎年行われています。

講義では、細胞やその仕組みについて、わかりやすく説明くださり、生徒も質問をしていました。



いしかわ高校科学グランプリ

10月16日（土）に、石川県総合スポーツセンターで、「いしかわ高校科学グランプリ」が行われました。これは石川県教育委員会の主催で、県内の科学好きの生徒が一堂に会し、競い合う場を設けることで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層の応用力や実践力を伸ばしながら、科学教育のレベルアップを図ることを目的として実施されているものです。また、この大会は「第11回科学の甲子園全国大会」の石川県代表選考会も兼ねています。

筆記競技（120分、物・化・生・地・数・情の12題）、実技競技：実験系（60分1題）、実技競技：総合系（120分1題）を各グループで協力して課題にあたります。本校からは6チームが参加しました。

本校は、残念ながら総合では入賞することはできませんでしたが、実技競技：総合系では、1年生理数科の「マナツルグミ」が優勝しました。

今年は健闘及ばなかったチームも来年また是非頑張りたいと思います。



1年生理数科チーム「マナツルグミ」



北原君、杉浦君、真鶴君、福岡君
村井さん、宮腰さん、長田さん

SSH・NSH 成果発表会

12月16日（木）に七尾高校SSH・NSH成果発表会が行われました。内容は、公開授業と研究協議会です。2・3限目の公開授業は、理数科と普通科文系フロンティアコースの2年生が4月から「自然科学研究Ⅱ（課題研究）」「B 探究Ⅱ」で取り組んできた課題研究についてのポスターの発表会でした。県内の大学の先生方がご来校下さり、生徒の発表の様子を参観されました。

4限目の研究協議会では、SSH・NSHの取組についての説明のあと、質疑応答が行われました。

2年生の感想

○理数科の研究はどれも初めて見るものですが、日常の中から調べる課題を見つけていて、着眼点がすごく面白いと思いました。文フロも理数科も1年かけて調べたり、考えたりした内容なので、どの班も内容が濃くて聞きごたえがありました。

○食料廃棄の増加を防ぐために野菜を使ったクレヨンを作ったり、コメの消費不足を解消するためにゲームを使ってコメのやり取りを行ったりといった新しい発想がたくさん出ていて、本当にすごかった。

○きっかけが明確に示している班が多いのが印象的だった。疑問を解決するために仮説、実験、考察を繰り返してよかった。



1年生の感想

○文フロの研究内容はとても現実的で実際に実現してほしいなと思いました。理数科の研究は身の回りのものが研究テーマで初めて知ることがたくさんあって面白かったです。

○現代が抱える問題やSDGsをふまえ、それを絡めて能登の魅力をアピールして体験してもらえるプランを考えていてすごかった。また、具体的に考えられていた。

○文フロと理数科で身近さは大きく差異があったが、どちらも研究の意図や結果など十分に理解できた。

○自分の身の回りのもので活用できるものや、特別な人（アレルギーや病気の人）のための実験はいいなと思った。

